
ある日の少女

海記 龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある日の少女

【Nコード】

N0176S

【作者名】

海記 龍

【あらすじ】

ある日の少女と家族。

両親は海外で仕事。残された娘は…？

（前書き）

ある日の少女。

日って域越えてますけどね。

後これ初短編。

ある朝のことです。

ある家に住む少女は、ベッドの上で一冊の本を読み始めました。
毎朝の日課だからです。

その本はファンタジーと呼ばれる、少女が大好きなものでした。

ですが、この本は両親が買ってきたということを思い出すと、急に読むのをやめ、パタン、と本を閉じてしまいました。

少女の両親は、両方ともいつも海外で働いているので、少女は幼いころから母の姉、伯母のところに預けられていました。

そんな少女を、伯母とその夫の伯父は、いつも励ましてくれますが、少女の心は晴れません。それどころか、どんどん心が曇っていくような気がするのです。少女は、そんな気持ちのまま、毎日を過ごしていました。

そんな日ではない、ある朝のことです。

その日は、少女の誕生日でした。

ですが、こんな日でも、両親が帰って来るはずがありません。

毎年届く、形だけのプレゼント。中身はいつも、もう少女が飽きてしまったものばかりです。両親はいつもいないので、少女が飽きてしまったことを知らないのです。

前読んでいた本も、両親から届いたものでした。これは、誕生日ではなく、「偶然買ってしまった、こちらはいらないからあげる。」という、心などこもっているはずもないものでした。

それらは、届いてから封を開ける前に伯母たちが倉庫へ運びます。数年前から少女が頼んでいることです。

少女は、こんなものは見たくないのです。

伯母たちも、そんな少女の気持ちを分かっています。もう、この少女には、本当の親より伯母、伯父の方が親のようなものでした。そんな少女を、2人はちゃんと受け止めてくれました。優しく、心の傷が癒えるまで。

10年が経った、ある朝のことです。

10年前から、1度も親は帰ってきません。ずっと見ていないせいで、少女：いえ、娘は親の顔を忘れてしまいました。親も、娘の顔など忘れているでしょう。それどころか、娘のことすら忘れているかもしれません。

そういう親なのです。

もう娘は、親のことは考えないようにしました。そして、子供がいなかった伯母たちのところに、養女に入りました。もともと伯母たちが育ててきていたので、生活はたいして変わりありませんでした。昔から、本当の家族のようだったからです。

また数年が経った、ある朝のことです。

突然、娘のところに本当の親が帰ってきました。

娘は、すぐに自分の部屋にこもりました。

あんな親は、いないものだと考えていたからです。ですが親は、ちゃんと娘のことを考えていました。

ちょうど、娘に会うような服を、何着も買ってきていました。ちゃんと娘の好みに合っています。なぜ、こんな服を買ってこれたのか、娘は少し聞いてみました。

両親は、「伯母たちに、毎月1枚ずつ、娘の写真を撮って送ってもらっていた」と言いました。

娘は驚きました。両親はとても優しい顔で笑っていました。

娘は両親を理解し、そして仲良くなりました。

ですが、もう娘の親は伯母と伯父です。本当の両親は、『母の妹夫婦』ということにしかないのです、戸籍上は。

ですが、伯母はこう言いました。「私たちの家で、全員暮らせばいい。そうしたら、養女とかも気にならないでしょ。」と。

そして、娘と本当の親は、その案にのり、全員がここで暮らすことになりました。

幸い家は広く、ちゃんと全員が住めるようになっていました。

本当の両親が持っていた家は売り、娘の将来に使うことにしました。両親が本当に自分のことを思ってくれていたのだと、娘は少し涙が出ました。

それから1年経った、ある朝のことです。

娘は本当の両親と今の両親と、5人で楽しく暮らしていました。いえ、もうすぐ6人になります。本当の両親の方に、新しい子供ができたのです。女の子で、もうすぐ生まれる予定です。娘は妹が生まれるのを、とても楽しみにしています。

そう、とても楽しみに――

（後書き）

お読みいただき、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0176s/>

ある日の少女

2011年10月8日14時41分発行